

プレゼンテーション部門 審査基準

評価項目	点数
1 課題の設定と現状把握	25
地域や社会問題等に則した明確な課題設定がなされているか	
SDGsの達成に寄与する課題設定になっているか (SDGsとの関係を明確に示す)	
現状の分析・把握は適切か	
探究に必要な客観的なデータ等で分析されているか	
実際の現場を知ろうとする意欲が感じられるか (取材、現地調査、アンケートなど)	
2 探究の内容	30
探究の着眼点は的確か	
現状分析等に基づいた理論的な構成になっているか	
現場主義に立脚しているか (机上の空論になっていないか)	
工夫がなされているか (取材、現地調査、アンケート、実証、実験、PDCAサイクル等)	
課題を「自分事」として捉えているか	
課題解決の意欲が感じられるか (単なる評論になっていないか)	
3 発表資料の内容や表現	25
探究内容を説明する資料として適切か	
分かりやすく構成されているか	
説明の流れが良好で、機器等の取り扱い (トラブル対応含む) も適切か	
説明は聞き取りやすく、分かりやすいか	
説得力のある説明になっているか	
4 総合評価 (該当する場合は加点)	20
課題設定や探究内容などに独創性が感じられる	
課題を解決するためのデザイン思考やイノベーションが感じられる	
解決策に実効性が感じられる	
高校生らしいチャレンジ精神が感じられる (課題の解決策にたどり着けなくてもよい)	
	100

5 時間超過による減点
～30秒 △10点、～60秒 △20点、～90秒 △30点、90秒以上 △50点

時間超過による減点は、合計得点から減点する

(審査員①の点数 + 審査員②の点数 + 審査員③の点数 + 審査員④の点数) = 合計得点

合計得点 - 時間超過の減点 = 最終得点

※ 発表時間は、司会者による「発表をお願いします」の合図から、発表者による「発表を終わります」までを主催者が計測した時間とする。